



製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	Microsome-High™ Canine Pancreatic Microsomal Membranes
会社名	東洋紡績株式会社
住所	大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
担当部門	バイオケミカル事業部
電話番号	06-6348-3786
FAX番号	06-6348-3833
製品コード	MSM-101

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学特性		
パーツ名	主要成分	CAS No.
Microsomal membranes	イヌ膵臓由来ミクロソーム画分	
	ソルビトール	50-70-4
	HEPES	7365-45-9
	ジチオスレイトール	3483-12-3
危険有害成分	1%を超える化学物質管理促進法指定化学物質、労働安全衛生法通知対象物、毒物劇物取締法毒物・劇物に該当する物質を含んでいない。	

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性及び影響
 有害性
 環境影響
 物理的及び化学的危険性
 特定の危険有害性
 分類の名称(分類基準は日本方式)

有害性に関する調査が不十分なので、取扱いには注意する。
 環境影響に関する調査が不十分なので、取扱いには注意する。
 通常の状態では危険性は小さい。
 特になし。
 分類基準に該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合	誤って吸入した場合、新鮮な空気の場合に移動する。異常がある場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	汚染した衣類、靴などを直ちに脱ぎ捨て、製品に触れた部分を水または微温湯で流しながら洗浄する。石鹸を使ってよく落とす。
目に入った場合	直ちに清浄な流水で少なくとも15分以上洗浄し、速やかに眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	大量の水または食塩水を飲んでできるだけ吐き出させ、異常がある場合は至急医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤	粉末、二酸化炭素、泡、乾燥砂など。
消火を行う者の保護	消火作業を行う際は風上から行う。大規模火災の場合は呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	眼や皮膚への接触および吸入を避ける。回収の際は適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	可能な限り回収する。回収後多量の水を用いて洗い流す。
除去方法	可能な限り、減圧で吸収したり、ウェスなどに吸収させて密閉式の空容器に回収し、その後、大量の水で洗い流す。



製品安全データシート

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

人体への接触に対して十分に配慮する。接触防止のため、保護眼鏡、保護手袋等の保護具を着用する。接触しないよう注意して使用し、接触した際はできるだけ除去する。

注意事項

安全取扱い注意事項

局所排気内で取り扱う。

取扱い場所を常に整理整頓し、清潔に保つ。

保管

適切な保管条件

安全な容器包装材料

本試薬は -80 で保管する。

本製品に使用されている容器内で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

換気設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

必要に応じてマスクを着用する。

手の保護具

ゴム手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

必要に応じて実験用の被服等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状

0 以上で液体。-80 で固体。

色、臭い

白色懸濁液、ほとんど無臭。

pH

7.0~8.0

引火点()

水溶液のため引火の可能性はないと考えられる。

発火点()

水溶液のため発火の可能性はないと考えられる。

爆発特性

常温では爆発性はない。

密度

知見なし

溶解性

水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性

-80 で安定。

反応性

特に常温で危険な反応性はない。

避けるべき条件

知見なし

危険有害な分解生成物

知見なし

11. 有害性情報

急性毒性

知見なし

局所効果

知見なし

12. 環境影響情報

移動性

水溶性あり、水系に拡散する。

残留性/分解性

良分解性と考えられる。

魚毒性

知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

おがくずなどに吸収させて焼却炉で少しずつ焼却するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。本製品の低濃度排水は活性汚泥処理を行うことができる。

汚染容器・包装

大量の水で洗浄後、容器の種類に応じて処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制(国際規制)

輸送に関する法規制には該当しない。

国連分類・番号

国連勧告の定義上の危険物には該当しない。

15. 適用法令

法規制

なし



製品安全データシート

16. その他の情報

制約事項

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実用を前提としたものですので、特別の実用をする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。記載内容は情報提供を目的とするものであって、保証するものではありません。

その他（感染情報）

本製品に使用しているイヌ膵臓は、ワクチン接種や微生物検査等を実施し異常の無い個体由来のものを用いていますが、すべての内容に関して保証するものではありません。

参考文献

「労働安全衛生法対象物質全データ」化学工業日報社「化学物質管理促進法対象物質全データ」化学工業日報社